

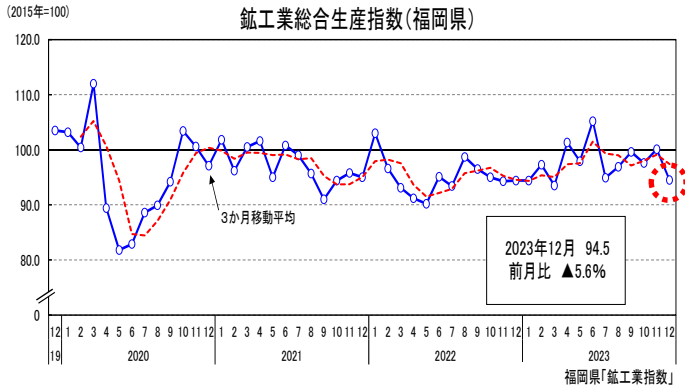
ふくおかの経済

令和6年2月号



生産 持ち直しの動きに足踏みがみられる。

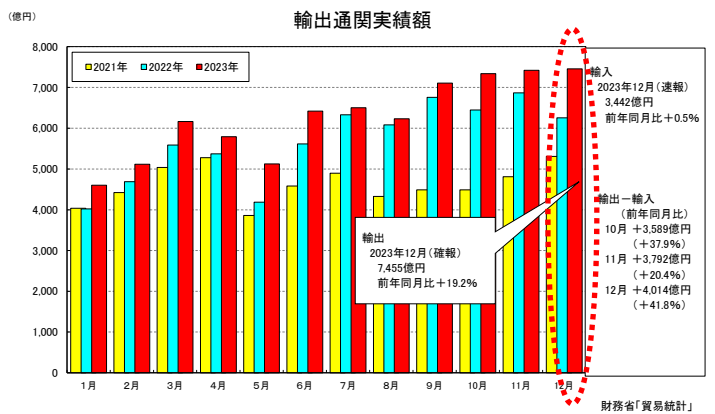
12月の生産指数は、輸送機械工業、ゴム製品工業などが低下したため、2か月ぶりに前月を下回りました。



鉱工業生産指数は、2015年の生産水準を100として、その変化を表しています。

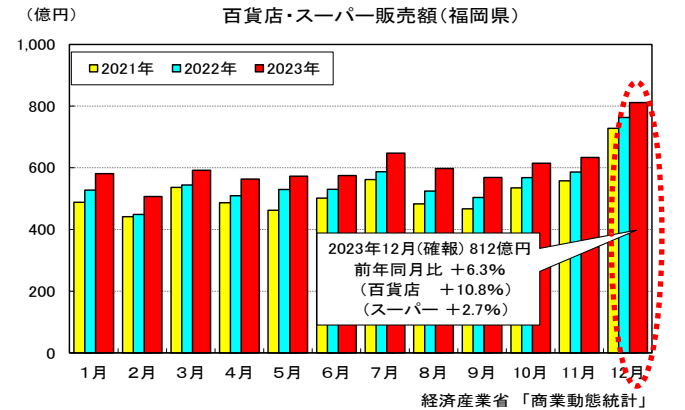
貿易 輸出額、輸入額ともに、前年同月を上回っている。

12月の輸出額は、前年同月比+19.2%、輸入額は同+0.5%といずれも前年同月を上回りました。



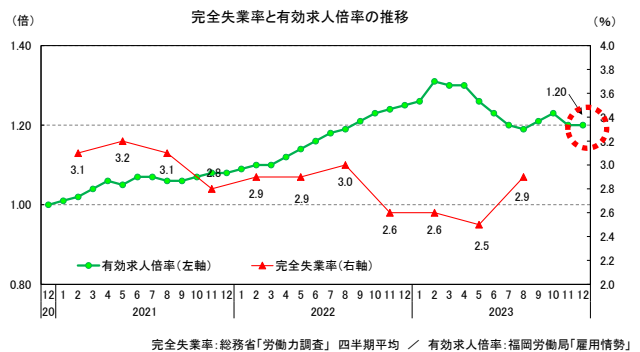
消費 緩やかに回復している。

12月の百貨店・スーパー販売額は、27か月連続で前年同月を上回りました。



雇用 雇用情勢は、改善している。

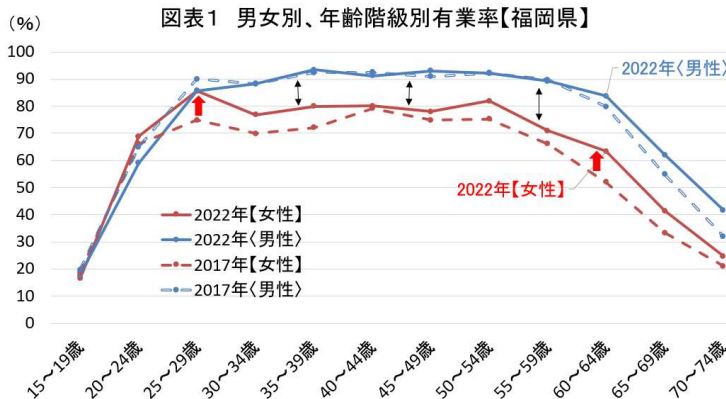
12月の有効求人倍率は1.20倍で、前月と同倍となりました。



「仕事を探している人の数」に対する「企業の求人数」の割合が有効求人倍率です。1.00倍より大きいと、人手不足を表します。

今月のピックアップ 女性で少ない建設業や製造業などへの就業

- 女性の有業率(2022年)は、5年前と比較すると、ほぼ全ての年齢階級で上昇しました。20~24歳では男性を上回り、25~29歳では男性とほぼ同率となりました。一方で、その他の年齢では、概ね男性を下回っています(図表1)。
- 主な産業別の内訳を見ると、建設業や製造業などでは、男性の正規職員が最も多くなっています。一方、卸売業小売業では、女性の非正規職員が、医療、福祉では、女性の正規職員が最も多くなっています(図表2)。
- 4月から建設業や運輸業などの時間外労働の上限規制が適用されるなか、これまで女性が少ない産業においても、女性の受け入れを進めていくことが求められそうです。



出所: 総務省「令和4年就業構造基本調査」より作成

